

# 阿武隈地域で8月旧盆需要期に 採花可能な小ギク品種(飯舘村)

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 地域課題解決展示ほによる営農再開支援

研究課題名 小ギクの阿武隈中山間における品種適応性の実証(阿武隈地域における開花特性)

担当者 根本知明、江川孝二

## I 実証技術の解説

### 1 要旨

阿武隈地域における露地小ギク栽培で、「とびまる」「花の舞」「しおん」および電照処理をした「精ちぐさ」「精こまき」が8月旧盆需要期に採花可能であり、福島県青果物標準出荷規格の2L規格以上を確保できる。

- (1) 露地栽培3品種の採花盛期(採花50%)は、「とびまる」が7月30日、「花の舞」が8月6日となり、8月旧盆需要期に出荷できる。ただし、「しおん」の採花始期(採花10%)は8月7日だが、採花盛期が8月12日となり8月旧盆需要期よりやや遅れる(表1)。
- (2) 電照栽培2品種の採花盛期は、「精ちぐさ」が8月5日、「精こまき」が8月8日となり、8月旧盆需要期に出荷できる(表2)。
- (3) 切花長は、供試した露地栽培3品種、電照栽培2品種とも福島県青果物標準出荷規格の2L以上となる(表1, 2)。

### 2 期待される効果

- (1) 阿武隈地域において、8月旧盆需要期に出荷可能な小ギク品種の構成基準となる。

### 3 活用上の留意点

- (1) 本試験は、平成29年に飯舘村展示ほ(標高475m)で行ったものである。
- (2) 「とびまる」「花の舞」「しおん」はJAふくしま未来の部会限定品種である。
- (3) 「しおん」の採花盛期は8月旧盆需要期より遅れるため、作付けの際は品種構成等に留意する。
- (4) 除染後農地では、可給態リン酸値等が低い場合があるので、土壌診断に基づく土壌改良を行う(表3)。

## II 具体的データ等

表1 露地栽培3品種の採花時期及び切花長

品種	採花始期 (月日)	採花盛期 (月日)	採花終期 (月日)	切花長 (cm)
とびまる(黄)	7月26日	7月30日	8月4日	96±0.8
花の舞(赤)	7月29日	8月6日	8月12日	101±0.7
しおん(白)	8月7日	8月12日	8月17日	106±4.5

注1) 採花始期、盛期、終期は、調査全茎の10%、50%、90%を採花した日とした。

注2) 切花長は、平均値±標準偏差として記載した。

表2 電照栽培2品種の採花時期及び切花長

品種	採花始期 (月日)	採花盛期 (月日)	採花終期 (月日)	消灯日 (月日)	到花日数 (日数)	切花長 (cm)
精ちぐさ(赤)	8月3日	8月5日	8月7日	6月21日	46	98±1.1
精こまき(黄)	8月5日	8月8日	8月11日	6月15日	55	100±3.6

注1) 電照は、22:00~4:00の6時間処理として、育苗開始から消灯日まで行った。

注2) 電球は、白熱灯(みのり電球75W)を3×1.6mに1球、高さ1.8mに設置した。

注3) 採花始期、盛期、終期は、調査全茎の10%、50%、90%を採花した日とした。

注4) 到花日数は、消灯日から採花盛期までの日数とした。

注5) 切花長は、平均値±標準偏差として記載した。



図1 8月旧盆需要期の採花始期前後の様子 左:花の舞(赤)(7月31日) 右:精ちぐさ(赤)(8月4日)

表3 土壌改良前の土壌分析値

pH	EC	CEC	交換性			可給態 リン酸
			石灰	苦土	加里	
[H2O]	[mS/cm]	[me/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]
6.8	0.02	11.6	144	29	44	16

注1) 土壌は、0-15cm深で採取した。

注2) 可給態リン酸の改良基準(福島県土壌改良基準・普通畑土壌)は、20mg/100g以上である。

## III その他

### 1 執筆者

根本知明

### 2 実施期間

平成29年度

### 3 活用した技術のポイント(参考文献・資料等)

(1) 平成26年度参考となる成果「同一品種での8、9月需要期出荷が可能な夏秋咲き小ギクの露地電照栽培」